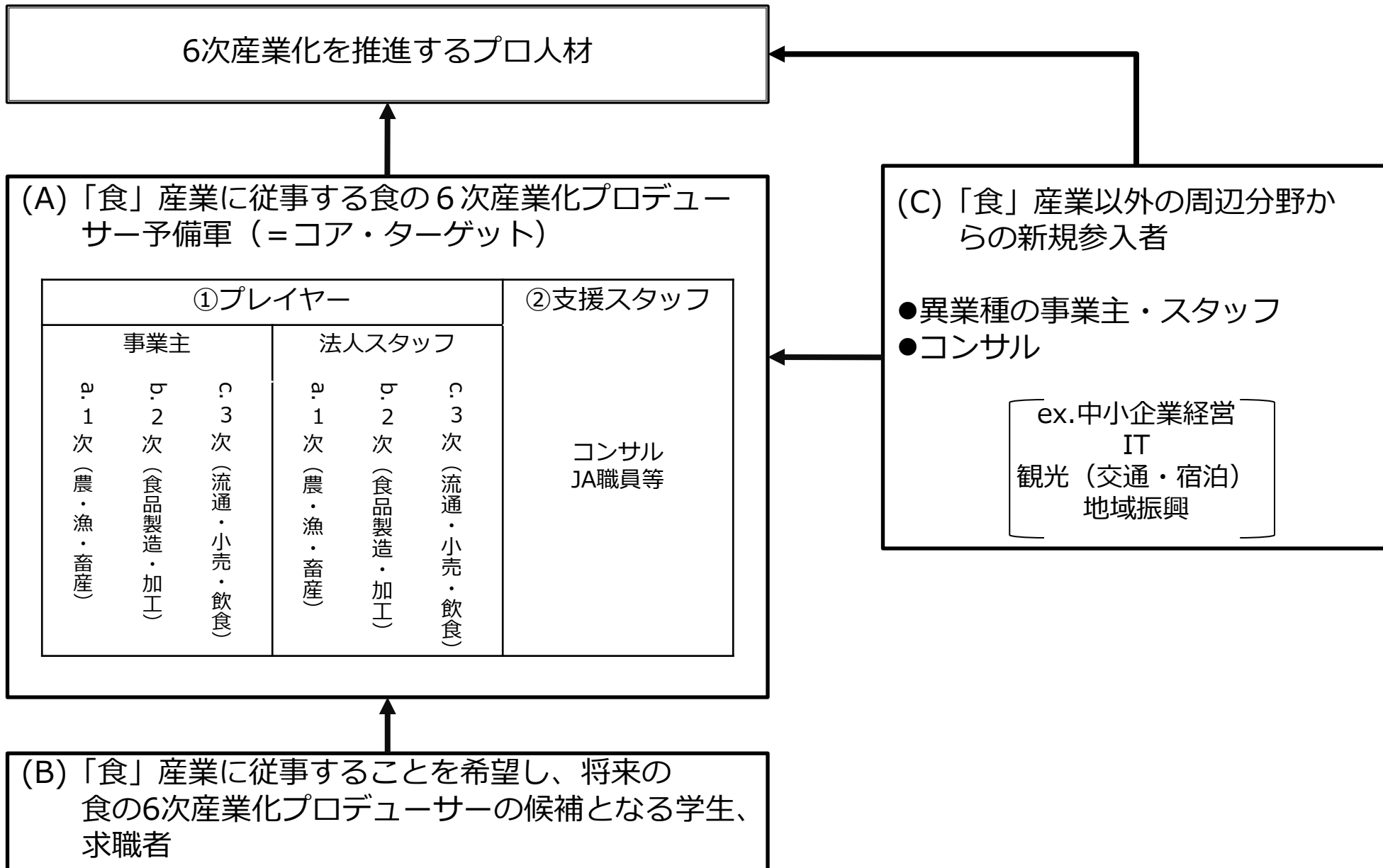


# 食の6次産業化プロデューサーのターゲット



# 「わかる」と「できる」の評価の考え方

レベル	「わかる」	「できる」
4以上	—	「継続年数」と「事業成果」の評価
3	①認証された育成プログラムの履修 + ②既存の資格・認定の取得による代替評価	①「継続年数」・「事業成果」の評価 + ②既存の資格・認定の取得による代替評価(実務能力や経験年数を評価しているものに限る。)
2		「継続年数」・「経験内容」の評価
1		認証された育成プログラム内の実習・演習による代替評価

新規作成

6次産業化で「経験」と「成果」があるとはどういうことかを指標化  
⇒指標に基づき第三者が評価

既存の仕組みを活用

プログラムの修了証、資格の取得証明書による書面審査